

長野労働局発表
(06-32)
令和6年10月1日

担 当	職業安定部職業安定課
	課長 松本 賢一郎
	課長補佐 岡部 瑞穂
	労働市場情報官 小林 宏安 電話 026-226-0865

最近の雇用情勢 (令和6年8月分)

長野労働局(局長 ^{みうら えいいちろう} 三浦 栄一郎)は、令和6年8月分の県内の雇用情勢をとりまとめました。

- 令和6年8月の有効求人倍率(季節調整値)は 1.30倍で、前月を0.01ポイント下回り、2か月ぶりの低下となった。
 - 有効求人数(季節調整値)は42,623人で前月に比べ1.3%減少し、有効求職者数(同)は32,769人で前月に比べ0.3%減少した。
 - 新規求人倍率(季節調整値)は2.30倍となり、前月を0.14ポイント上回った。
-
- 8月の新規求人数(実数値)は13,982人となり、前年同月比で10.0%減少した。
 - 産業別(大分類)にみると、前年同月比で増加した業種は、G 情報通信業、O 教育、学習支援業であり、その他の業種では前年同月比で減少した。
 - 8月の新規求職者数(実数値)は5,576人となり、前年同月比で11.3%減少した。新規常用求職者(3,489人)のうち、「事業主都合離職者」は360人となり、前年同月比で3.2%増加し、「自己都合離職者」は1,344人となり、前年同月比で15.1%減少し、「在職者」は1,486人となり、前年同月比で13.0%減少した。
 - 8月の就職件数は1,733件となり、前年同月比で11.7%減少した。
このうち常用就職件数は882件となり、前年同月比で16.8%減少した。
パートタイム就職件数は804件となり、前年同月比で4.5%減少した。

雇用情勢は、堅調に推移している。
ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある。

～ 用語の解説 ～

- 〔一般〕 一般とは常用及び臨時・季節を合わせたものをいう。
- 〔常用〕 常用とは、雇用契約において雇用期間の定めがない、または4か月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く)をいう。
- 〔パート〕 一週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用されている、通常の労働者の一週間の所定労働時間に比べて短い就業形態をいう。
- 〔臨時・季節〕 臨時とは、雇用契約において1か月以上4か月未満の雇用契約期間が定められている仕事をいう。
季節とは、季節的な労働需要に対し、または季節的な余暇を利用して一定の期間(4か月未満、4か月以上の別を問わない)を定めて就労する仕事をいう。
- 〔求職者数〕 新規求職申込件数とは、公共職業安定所でその月のうちに新たに受けた求職申込件数をいう。
月間有効求職者数とは「前月から繰越された有効求職者数」と当月の「新規求職申込件数」の合計数である。
- 〔求人数〕 新規求人数とは、その月のうちに新たに受けた求人数(採用予定人員)をいう。
月間有効求人数とは「前月から繰越された有効求人数」と当月の「新規求人数」の合計数である。
- 〔就職件数〕 自安定所の有効求職者に対して、全国のハローワークで受理した求人を自安定所の紹介により就職が確認された件数。したがって、自己就職・縁故就職等は除かれる。
- 〔求人倍率〕 求職者の1人あたり、求人数がどれだけあるか、その割合をみるものである。
算出の方法は、次のとおりである。
- $$\text{新規求人倍率} = \frac{\text{新規求人数}}{\text{新規求職者数}} \qquad \text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$
- 〔正社員〕 パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員・正職員などと呼称される正規労働者をいう。
- 〔季節調整値〕 月別の時系列には、天候や社会習慣等の影響により毎年季節的に繰り返される一年周期の変動(季節変動)が含まれていることがあり、そのような系列をみるだけでは変動要因が判断できない場合もある。このような季節変動を有する系列の分析を行う際には、季節変動を除去してから、数値の比較を行う必要がある。
この季節変動の除去を「季節調整」と言い、これにより、季節調整値(季節調整された数値)は、前月との比較の際に使用し、実数値(季節調整していない数値)は、前年同月との比較の際に使用する。

※ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募、就職が確認された件数が含まれる。

最近の雇用情勢

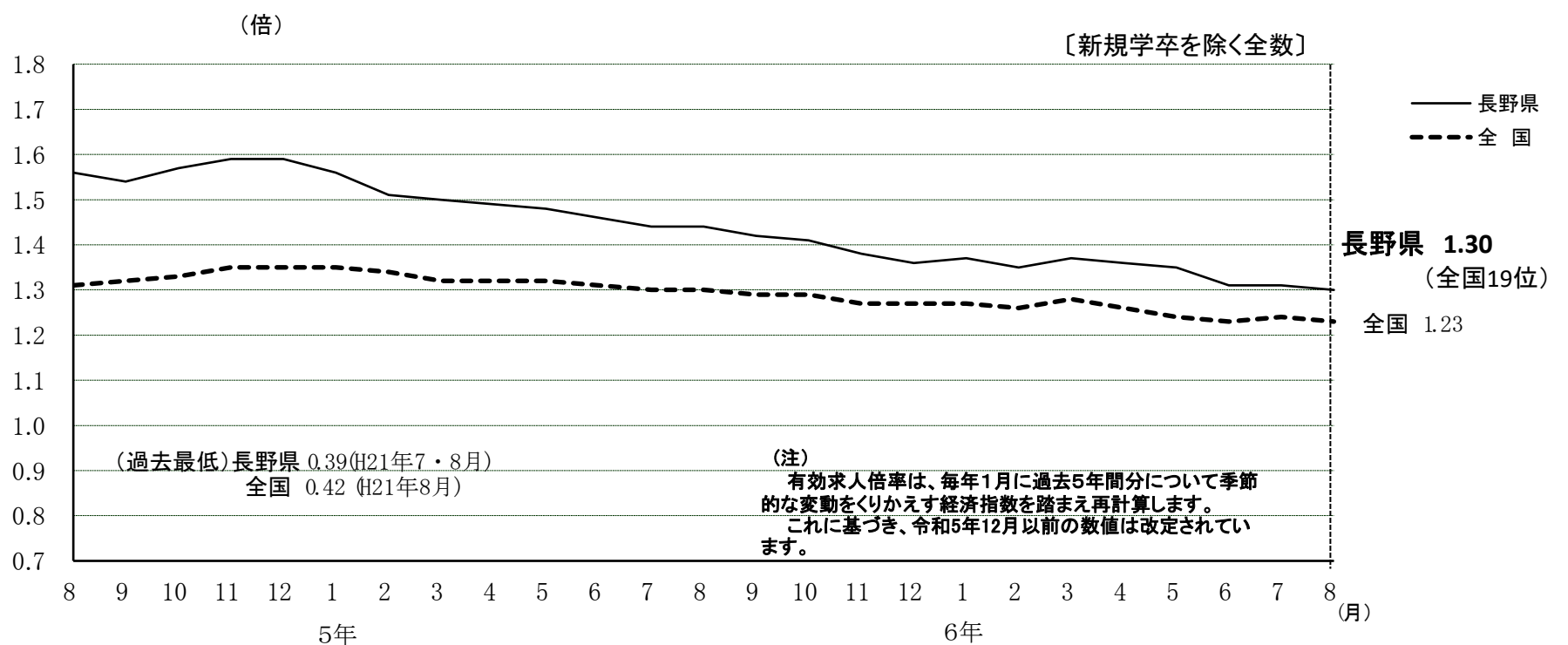
〔令和6年8月分〕

1 求人・求職の状況

① 有効求人倍率(季節調整値)の推移

令和6年8月の有効求人倍率(季節調整値)は1.30倍で前月より0.01ポイント下回った。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
最近年	1.44	1.42	1.41	1.38	1.36	1.37	1.35	1.37	1.36	1.35	1.31	1.31	1.30
前年	1.56	1.54	1.57	1.59	1.59	1.56	1.51	1.50	1.49	1.48	1.46	1.44	1.44



※ 月間有効求人・求職(季節調整値)の推移

	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月間有効 求人数	46,294	45,855	45,418	44,814	44,461	45,137	45,172	44,634	43,968	44,365	43,884	43,176	42,623
月間有効 求職者数	32,141	32,199	32,302	32,516	32,670	32,951	33,348	32,685	32,363	32,876	33,408	32,876	32,769

② 地域別有効求人倍率(実数値:以下同じ)

8月の有効求人倍率を地域別に見ると、全ブロックで前年同月を下回った。また、安定所別では大町所で前年同月を上回った。

[新規学卒を除く全数]

地域別	北信 1.29				東信 1.29		中信 1.36			南信 1.30		
(前年同月比 ポイント) 《前月》	《1.26》 (▲0.13)				《1.30》 (▲0.14)		《1.32》 (▲0.13)			《1.27》 (▲0.14)		
安定所別	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全数	1.35	1.19	1.23	1.31	1.26	1.32	1.35	1.30	1.43	1.30	1.23	1.37
《前月》	《1.31》	《1.18》	《1.21》	《1.22》	《1.30》	《1.29》	《1.32》	《1.29》	《1.34》	《1.34》	《1.18》	《1.30》
(前年同月比 ポイント)	(▲0.13)	(▲0.06)	(▲0.31)	(▲0.05)	(▲0.14)	(▲0.13)	(▲0.15)	(▲0.32)	(0.05)	(▲0.26)	(▲0.06)	(▲0.11)
うち常用	1.21	1.15	1.09	1.18	1.18	1.28	1.23	1.23	1.31	1.25	1.07	1.28
《前月》	《1.19》	《1.14》	《1.15》	《1.12》	《1.21》	《1.25》	《1.19》	《1.19》	《1.28》	《1.28》	《1.03》	《1.21》
(前年同月比 ポイント)	(▲0.11)	(▲0.06)	(▲0.32)	(▲0.11)	(▲0.14)	(▲0.13)	(▲0.05)	(▲0.29)	(0.06)	(▲0.25)	(▲0.08)	(▲0.11)

*「うち常用」とはパート常用を含み、臨時・季節を除く。

③ 新規求人数の推移

8月の新規求人数は、前年同月比で10.0%減少した。うち常用は11.4%減少し、うちパートは3.8%減少した。

年月	5年 8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 数	15,539	15,748	16,918	15,079	14,931	18,082	16,511	14,966	15,448	15,228	13,626	15,572	13,982
(前年同月比)	(▲8.3)	(▲5.9)	(▲11.2)	(▲14.4)	(▲7.4)	(▲5.4)	(▲10.6)	(▲11.7)	(▲6.2)	(▲2.0)	(▲11.5)	(▲4.2)	(▲10.0)
うち常用	9,166	8,492	9,397	8,857	8,159	9,496	9,182	8,254	9,025	8,494	7,834	9,098	8,121
(前年同月比)	(▲4.1)	(▲7.5)	(▲10.6)	(▲10.6)	(▲8.7)	(▲5.1)	(▲8.0)	(▲10.4)	(▲4.3)	(▲3.2)	(▲8.2)	(▲2.6)	(▲11.4)
うちパート	5,364	6,038	6,205	5,374	5,721	7,416	6,564	5,964	5,673	6,042	5,115	5,673	5,161
(前年同月比)	(▲13.3)	(▲6.6)	(▲10.5)	(▲18.5)	(▲6.6)	(▲3.6)	(▲11.6)	(▲13.4)	(▲7.7)	(3.7)	(▲16.1)	(▲6.1)	(▲3.8)
常用のうち正社員	7,400	7,008	7,651	7,123	6,671	7,619	7,163	6,765	7,234	6,816	6,437	7,376	6,540
(前年同月比)	(0.4)	(▲4.5)	(▲6.4)	(▲4.9)	(▲6.3)	(▲1.8)	(▲3.9)	(▲5.9)	(▲1.5)	(▲0.6)	(▲6.0)	(▲1.8)	(▲11.6)
全数に占める 正社員の割合	47.6	44.5	45.2	47.2	44.7	42.1	43.4	45.2	46.8	44.8	47.2	47.4	46.8
正社員有効 求人倍率	1.16	1.17	1.16	1.18	1.19	1.16	1.10	1.08	1.05	1.04	1.05	1.08	1.10

※全数には臨時・季節を含み、うち常用はパートを含まない。

④ 産業別新規求人状況

8月の産業別(大分類)の新規求人数は、前年同月比でG「情報通信業」、O「教育, 学習支援業」で前年同月を上回り、それ以外の産業は前年同月を下回った。

産 業 別	新規求人数		前月比 (%)	前年 同月比 (%)	産 業 別	新規求人数		前月比 (%)	前年 同月比 (%)
	(人)	うちパート				(人)	うちパート		
全 数	13,982	5,161	▲10.2	▲10.0	G 情報通信業	195	37	5.4	3.7
D 建設業	1,206	103	▲19.0	▲10.9	H 運輸業, 郵便業	597	144	▲16.0	(▲16.2)
E 製造業	2,376	567	0.6	▲3.9	I 卸売業, 小売業	1,696	918	▲5.5	(▲14.4)
09 食品品製造業	521		4.6	12.8	J 金融業, 保険業	71	21	12.7	▲33.0
10 飲料・たばこ・飼料製造業	216		▲16.0	50.0	K 不動産業, 物品賃貸業	240	100	▲2.8	▲5.9
14 パルプ・紙・紙加工品製造業	28	7	▲12.5	21.7	M 宿泊業, 飲食サービス業	1,194	682	24.4	▲8.0
15 印刷・同関連業	18	3	▲59.1	▲52.6	76 飲食店	389	241	6.9	▲14.9
18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	105	14	▲13.2	▲3.7		241	5.7	▲13.6	
24 金属製品製造業	204	29	11.5	▲16.0	N 生活関連サービス業, 娯楽業	355	211	▲52.2	▲30.8
25 はん用機械器具製造業	198	17	19.3	7.6	78 洗濯・理容・美容・浴場業	132	72	▲63.3	▲40.3
26 生産用機械器具製造業	165	14	▲30.7	▲22.5		72	▲54.7	▲38.5	
27 業務用機械器具製造業	107	24	▲6.7	▲12.5	O 教育, 学習支援業	239	149	24.5	43.1
28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	196	31	▲14.5	22.5		149	41.9	58.5	
29 電気機械器具製造業	343	122	9.1	▲10.1	P 医療, 福祉	2,603	1,248	▲12.3	(▲5.7)
30 情報通信機械器具製造業	70	18	2.9	▲11.1		1,248	▲9.3	(0.2)	
31 輸送用機械器具製造業	147	21	14.6	▲37.8	85 社会保険・社会福祉・介護事業	1,762	946	▲12.9	(▲8.4)
			3.3	3.3		946	▲6.6	(2.7)	
			▲14.5	22.5	R サービス業(他に分類されないもの)	2,294	585	▲20.4	(▲16.6)
			190.5	106.8		585	▲37.2	(▲17.5)	
			52.2	62.8	91 職業紹介・労働者派遣業	765	67	▲36.3	▲40.0
			80.0	100.0		67	▲64.2	▲48.5	
			▲19.2	▲12.5	その他の産業	916	396	▲6.4	(▲6.6)
			0.0	▲12.5		396	▲11.2	(▲1.2)	

注) 令和6年4月以降については令和5年7月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分、令和6年3月以前については平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分により表章したもの。令和6年4月以降の対前同月比については、産業分類改定による影響のある産業について()で示している。「その他の産業」には、A農業、林業、B漁業、C鉱業、採石業、砂利採取業、F電気・ガス・熱供給・水道業、L学術研究、専門・技術サービス業、Q複合サービス事業、S公務(他に分類されるものを除く)、T分類不能の産業を含む。

⑤ 新規求職者の推移

8月の新規求職者数は前年同月比で11.3%減少した。うち常用は12.1%減少し、うちパートは9.9%減少した。

年月	5年					6年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全数	6,289	6,447	6,978	6,216	6,173	8,030	7,674	7,189	9,390	7,540	6,102	6,295	5,576
(前年同月比)	(0.4)	(▲0.0)	(7.4)	(4.1)	(5.8)	(5.6)	(▲2.3)	(▲7.4)	(3.7)	(3.2)	(▲6.9)	(4.9)	(▲11.3)
うち常用	3,971	3,946	4,267	3,765	3,389	4,754	4,622	4,292	5,017	4,354	3,653	3,848	3,489
(前年同月比)	(▲0.7)	(▲0.3)	(8.2)	(5.7)	(5.4)	(4.1)	(▲2.4)	(▲9.2)	(3.7)	(2.1)	(▲8.3)	(1.5)	(▲12.1)
うちパート	2,300	2,490	2,686	2,240	2,089	3,064	3,019	2,850	4,273	3,159	2,427	2,429	2,072
(前年同月比)	(1.9)	(0.5)	(5.9)	(1.5)	(10.1)	(9.9)	(▲1.9)	(▲4.3)	(3.3)	(5.2)	(▲4.5)	(10.8)	(▲9.9)

※ 全数には、臨時・季節を含み、うち常用にはパートは含まない。

⑥ 新規常用求職者の態様別状況

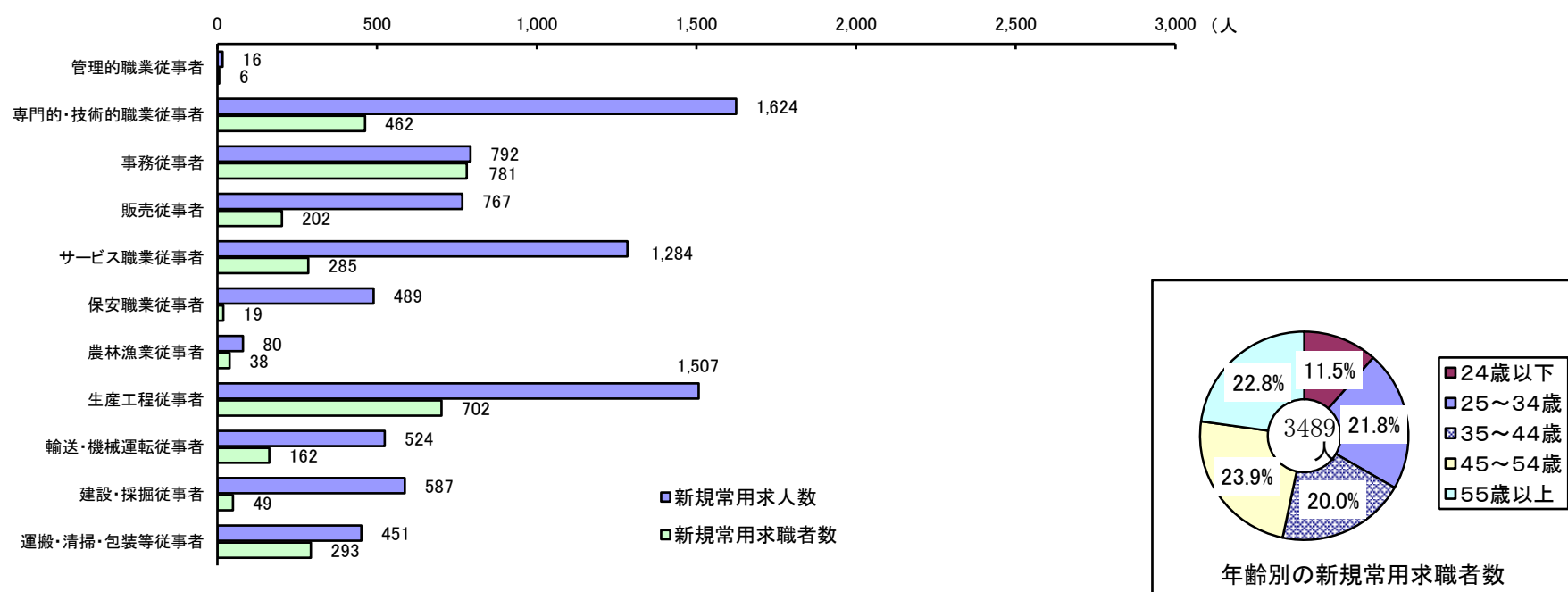
8月の新規常用求職者の状況を態様別にみると、前年同月比で在職者は13.0%の減少、離職者は11.7%の減少、無業者は9.4%の減少となった。離職者のうち、事業主都合は3.2%の増加となった。

年月	5年					6年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
常用求職者	3,971	3,946	4,267	3,765	3,389	4,754	4,622	4,292	5,017	4,354	3,653	3,848	3,489
(前年同月比)	(▲0.7)	(▲0.3)	(8.2)	(5.7)	(5.4)	(4.1)	(▲2.4)	(▲9.2)	(3.7)	(2.1)	(▲8.3)	(1.5)	(▲12.1)
在職者	1,708	1,683	1,786	1,623	1,518	2,071	2,288	1,881	1,578	1,616	1,563	1,580	1,486
(前年同月比)	(1.7)	(0.1)	(13.5)	(6.6)	(11.2)	(2.3)	(▲2.0)	(▲6.5)	(▲0.8)	(▲2.8)	(▲8.1)	(▲1.3)	(▲13.0)
離職者	2,051	2,049	2,254	1,928	1,704	2,438	2,116	2,099	3,107	2,437	1,861	2,053	1,811
(前年同月比)	(▲1.6)	(0.8)	(5.8)	(3.8)	(1.2)	(4.5)	(▲1.4)	(▲11.9)	(4.3)	(4.1)	(▲8.7)	(3.4)	(▲11.7)
定年	69	65	75	61	61	85	66	60	208	98	60	77	58
(前年同月比)	(15.0)	(1.6)	(8.7)	(29.8)	(▲7.6)	(37.1)	(▲5.7)	(▲43.4)	(2.0)	(27.3)	(▲10.4)	(20.3)	(▲15.9)
事業主都合	349	366	485	420	416	530	437	403	737	515	398	395	360
(前年同月比)	(▲7.7)	(1.7)	(35.5)	(18.6)	(5.3)	(23.0)	(3.3)	(▲11.6)	(8.5)	(11.0)	(▲8.1)	(▲0.5)	(3.2)
自己都合	1,583	1,569	1,652	1,401	1,195	1,766	1,552	1,574	2,106	1,762	1,350	1,539	1,344
(前年同月比)	(▲0.6)	(0.6)	(0.1)	(▲0.8)	(0.8)	(▲0.4)	(▲2.6)	(▲10.5)	(2.7)	(0.6)	(▲9.3)	(4.1)	(▲15.1)
無業者	212	214	227	214	167	245	218	312	332	301	229	215	192
(前年同月比)	(▲9.4)	(▲12.3)	(▲4.6)	(18.9)	(▲0.6)	(17.2)	(▲14.5)	(▲5.7)	(23.4)	(15.3)	(▲6.5)	(3.9)	(▲9.4)

※ 離職者は、「前職雇用者」と「前職自営、その他」(表中では省略)に分けられる。
「前職雇用者」は、離職理由別に「定年」「事業主都合」「自己都合」「不明」(表中では省略)に区分される。
このため内訳の計と離職者数欄の数値は一致しない。
※ 無業者とは、家事、育児等従事者及び離職後1年を超えて求職活動をしていない者をいう。

⑦ 職業別の新規常用求人・求職、年齢別の新規常用求職の状況

8月の新規求人・求職者数を職業別に対比してみると、すべての職業で求人数が求職者数を上回った。



※パートタイムを除く常用

平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく区分

⑧ 月間有効求人・求職(実数値)の推移

8月の月間有効求人数は前年同月比で8.3%減少し、月間有効求職者数は1.3%増加した。

年月	5年 8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月間有効 求人数	45,233	45,722	46,048	45,690	44,887	45,972	46,685	46,071	43,673	43,225	42,159	42,131	41,489
(前年同月比)	(▲8.8)	(▲7.1)	(▲9.1)	(▲11.1)	(▲10.5)	(▲8.9)	(▲9.0)	(▲9.4)	(▲8.8)	(▲6.3)	(▲6.6)	(▲5.9)	(▲8.3)
月間有効 求職者数	31,321	31,298	31,723	31,295	30,824	32,045	33,722	33,920	34,722	34,980	34,026	32,804	31,717
(前年同月比)	(▲0.9)	(▲0.4)	(1.6)	(2.5)	(4.4)	(4.2)	(2.8)	(0.1)	(0.7)	(2.5)	(2.6)	(3.4)	(1.3)

※パートタイム、臨時・季節を含む全数

2 就職の状況

8月の就職件数は、前年同月比で11.7%減少した。うち常用は16.8%減少し、うちパートは4.5%減少した。

年月	5年 8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全数	1,962	2,297	2,243	2,050	2,018	1,740	2,632	3,519	2,493	2,373	2,263	2,135	1,733
(前年同月比)	(▲5.9)	(▲1.8)	(4.7)	(▲3.1)	(7.9)	(▲2.4)	(6.7)	(▲5.3)	(▲1.0)	(▲3.3)	(▲4.8)	(0.8)	(▲11.7)
うち常用	1,060	1,182	1,145	1,064	978	921	1,278	1,586	1,145	1,128	1,039	1,089	882
(前年同月比)	(▲8.0)	(▲4.8)	(2.9)	(▲3.5)	(3.2)	(▲1.1)	(4.1)	(▲8.3)	(▲5.4)	(▲3.3)	(▲12.9)	(5.1)	(▲16.8)
うちパート	842	1,061	1,049	935	988	774	1,292	1,856	1,293	1,202	1,166	996	804
(前年同月比)	(▲2.4)	(1.7)	(10.0)	(▲0.6)	(15.4)	(▲2.3)	(10.7)	(▲2.4)	(4.1)	(▲2.9)	(2.5)	(▲2.8)	(▲4.5)

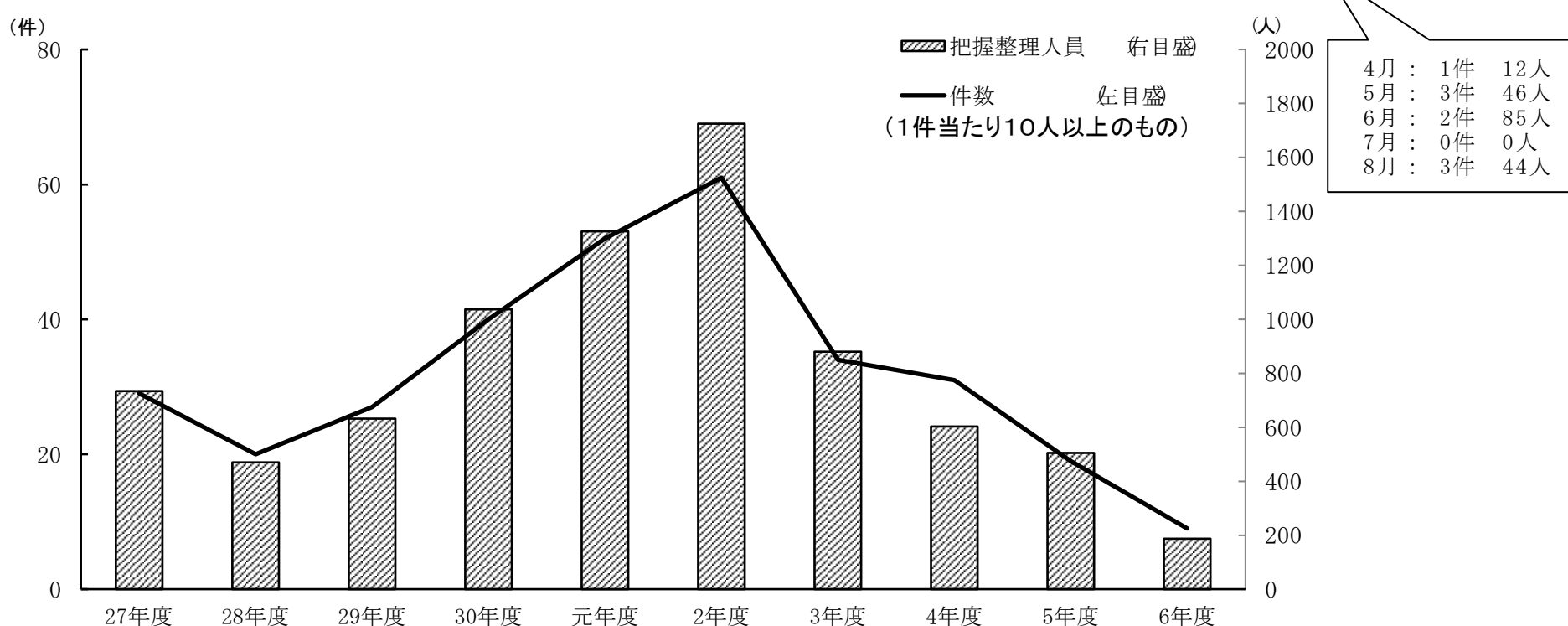
※全数には、臨時・季節を含み、うち常用にはパートは含まない。

3 人員整理の把握状況

8月中に把握した1件あたり10人以上の人員整理は、3件44人であった。
事業主都合による離職は279人で、前年同月を4.5%上回った。

①10人以上の人員整理把握状況の年度別推移

年度別	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	前年同期
件数	29	20	27	40	52	61	34	31	19	9	8
整理人数	734	470	632	1,037	1,326	1,725	880	603	505	187	189



② 事業主都合による離職の推移

(雇用保険の被保険者資格喪失データ)

年月	5年8月	9月	10月	11月	12月	3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
人数	267	265	343	244	281	390	424	332	792	345	273	345	279
(前年同月比)	(9.4)	(39.5)	(1.5)	(▲14.7)	(61.5)	(7.7)	(62.5)	(▲14.4)	(6.9)	(21.9)	(▲20.6)	(8.8)	(4.5)

※ 特例被保険者(季節)を除く

(参考) 雇用保険の適用事業所・被保険者・失業等給付受給者の状況

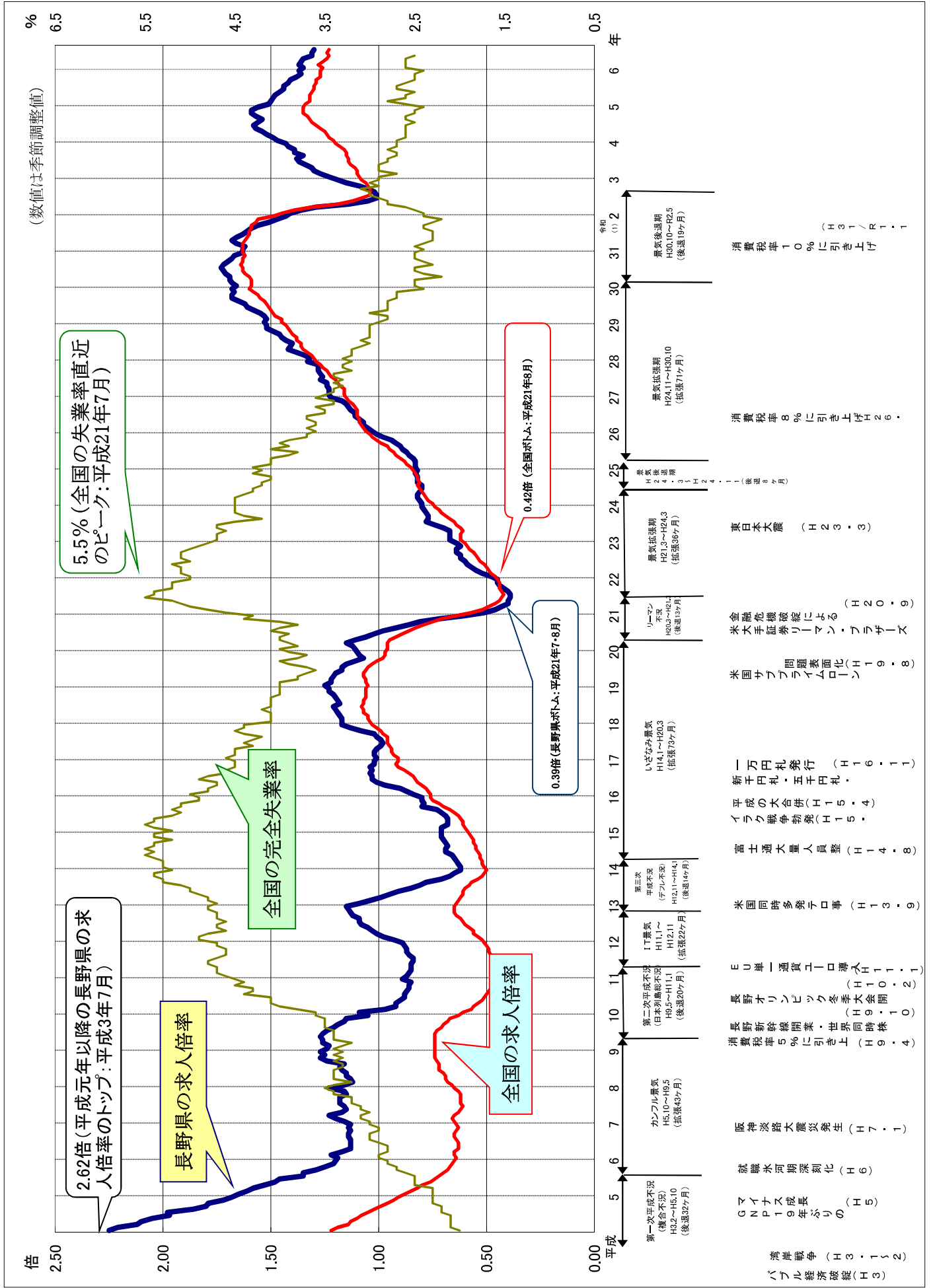
適用事業所数は、前年同月を0.2%下回った。被保険者数は645,379人で、前年同月を0.02%下回った。失業等給付(基本手当)の受給者は7,594人で、前年同月を0.8%上回った。

年月	5年8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
事業所月末現在数	38,213	37,903	37,967	38,005	38,032	38,075	38,115	38,129	38,093	38,069	38,071	38,112	38,142
(前年同月比)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.1)	(▲0.1)	(0.0)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.2)	(▲0.2)	(▲0.2)	(▲0.2)
資格取得数	6,407	6,341	7,200	6,642	5,651	6,078	5,753	6,032	13,578	17,782	8,482	7,661	5,815
資格喪失数	6,630	6,897	8,714	6,853	6,774	8,349	6,339	7,052	18,174	7,759	6,407	7,403	6,128
被保険者月末現在数	645,494	645,145	643,631	643,374	642,185	639,896	639,275	638,181	633,484	643,501	645,530	645,728	645,379
(前年同月比)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(▲0.4)	(▲0.2)	(0.0)	(0.1)	(▲0.02)
基本手当受給者実人員数	7,531	7,186	7,070	6,714	6,442	6,504	6,405	6,212	6,522	7,132	7,357	8,010	7,594
(前年同月比)	(2.0)	(2.3)	(8.7)	(8.1)	(6.3)	(6.3)	(7.2)	(1.3)	(11.0)	(1.8)	(1.2)	(7.3)	(0.8)

次回発表日 令和6年10月29日(火)

有効求人倍率・完全失業率の推移(令和6年8月分まで)

(長野労働局職業安定部)

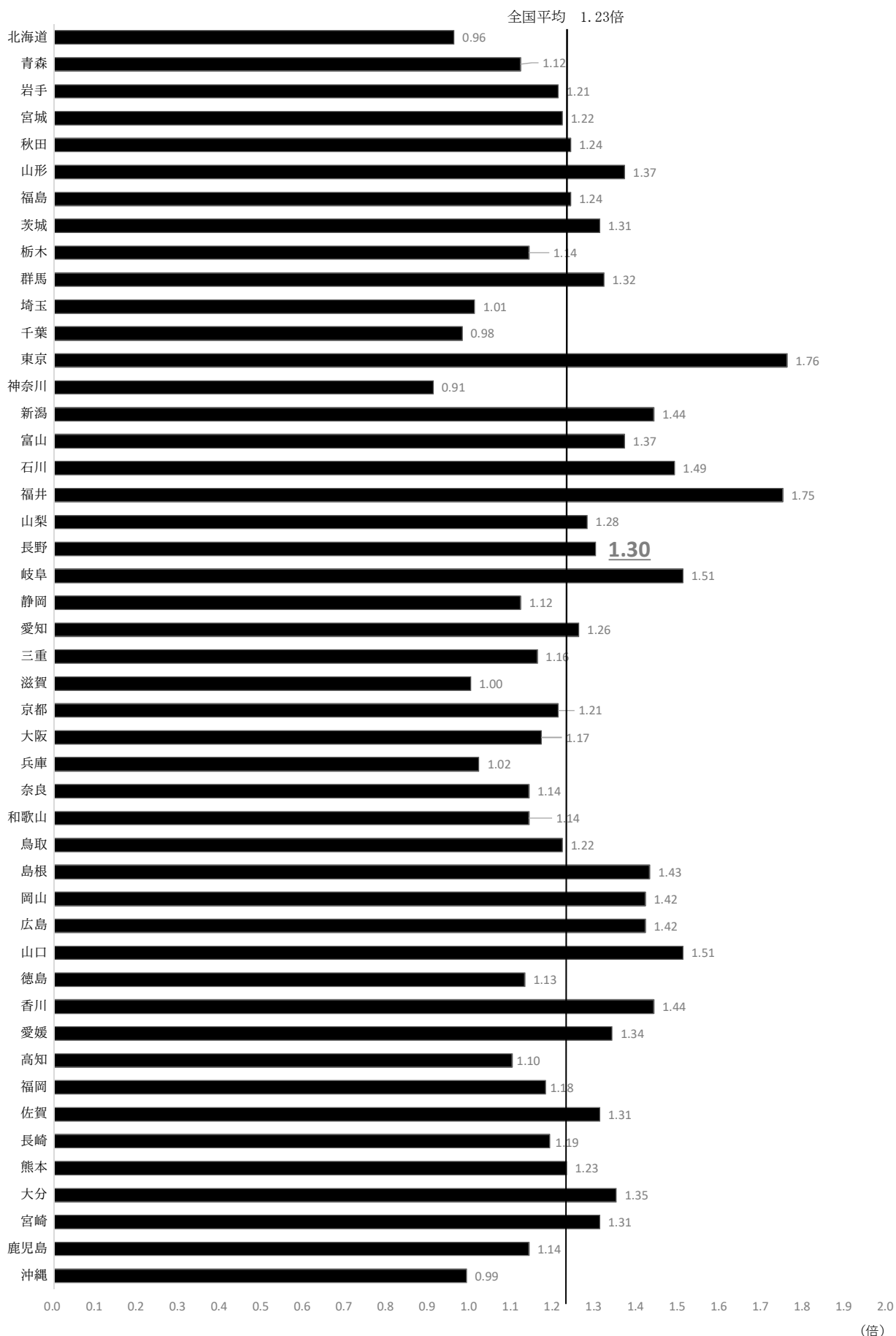


有効求人倍率・完全失業率の推移(令和6年8月分まで)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均	年度平均	景気の状態	トピックス
平成元年	1.97	1.98	2.04	2.09	2.07	2.12	2.05	2.13	2.19	2.23	2.25	2.25	2.11	2.19	バブル景気	消費税率入(4月)
(1989)	1.15	1.17	1.17	1.19	1.25	1.27	1.30	1.29	1.30	1.31	1.33	1.33	1.25	1.30		
	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.3	2.2		
平成2年	2.26	2.34	2.26	2.31	2.36	2.37	2.44	2.46	2.48	2.60	2.57	2.43	2.40	2.48	バブル景気	就職戦線、空前の超売手市場
(1990)	1.33	1.36	1.36	1.35	1.39	1.42	1.46	1.44	1.44	1.44	1.45	1.44	1.40	1.43		
	2.2	2.2	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1	2.0	2.1	2.2	2.0	2.0	2.1	2.1		
平成3年	2.56	2.56	2.59	2.57	2.59	2.60	2.62	2.61	2.57	2.54	2.50	2.45	2.56	2.48	第一次平成不況(H3.2)	バブル経済破綻 湾岸戦争(1~2月)
(1991)	1.43	1.44	1.44	1.41	1.44	1.44	1.44	1.40	1.36	1.36	1.34	1.31	1.40	1.34		
	2.0	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1		
平成4年	2.28	2.25	2.21	2.12	2.10	2.05	1.97	1.98	1.86	1.80	1.79	1.72	2.00	1.85		
(1992)	1.25	1.22	1.19	1.14	1.13	1.10	1.08	1.05	1.02	0.99	0.96	0.93	1.08	1.00		
	2.1	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2	2.2		
平成5年	1.68	1.65	1.61	1.58	1.53	1.48	1.46	1.35	1.35	1.29	1.25	1.21	1.45	1.34	カンフル景気(H5.10)	GNP19年ぶりのマイナス成長
(1993)	0.91	0.88	0.85	0.82	0.80	0.76	0.74	0.72	0.70	0.68	0.67	0.66	0.76	0.71		
	2.3	2.3	2.3	2.3	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.8	2.5	2.6		
平成6年	1.20	1.19	1.22	1.17	1.13	1.13	1.13	1.13	1.14	1.14	1.13	1.14	1.16	1.15		就職氷河期深刻化
(1994)	0.65	0.64	0.65	0.65	0.63	0.63	0.63	0.64	0.65	0.65	0.64	0.63	0.64	0.64		
	2.8	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9		
平成7年	1.13	1.16	1.20	1.23	1.17	1.15	1.16	1.18	1.18	1.18	1.15	1.16	1.17	1.18		阪神淡路大震災発生(1月)
(1995)	0.64	0.65	0.66	0.65	0.63	0.62	0.61	0.62	0.62	0.62	0.62	0.63	0.63	0.64		
	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.4	3.4	3.2	3.2		
平成8年	1.23	1.16	1.12	1.13	1.15	1.15	1.17	1.18	1.16	1.24	1.27	1.25	1.19	1.21		
(1996)	0.65	0.66	0.68	0.69	0.69	0.70	0.72	0.72	0.72	0.73	0.74	0.74	0.70	0.72		
	3.5	3.4	3.2	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3		
平成9年	1.27	1.24	1.23	1.26	1.26	1.27	1.26	1.24	1.21	1.19	1.16	1.15	1.23	1.17	第二次平成不況(H9.5)	消費税率5%に引上げ(4月) 長野新幹線開業(10月) 世界同時株安(10月)
(1997)	0.74	0.74	0.74	0.74	0.74	0.74	0.74	0.73	0.71	0.70	0.68	0.67	0.72	0.69		
	3.3	3.4	3.3	3.2	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5		
平成10年	1.05	1.09	0.97	0.92	0.92	0.90	0.88	0.88	0.87	0.86	0.86	0.85	0.92	0.88		長野オリンピック冬季大会開催(2月)
(1998)	0.63	0.61	0.57	0.56	0.54	0.52	0.51	0.50	0.49	0.48	0.47	0.47	0.53	0.50		
	3.6	3.6	3.8	4.0	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.3	4.5	4.4	4.1	4.3		
平成11年	0.89	0.87	0.86	0.85	0.85	0.85	0.84	0.84	0.86	0.87	0.87	0.88	0.86	0.88	IT景気(H11.1)	EU単一通貨ユーロ導入(1月)
(1999)	0.48	0.48	0.48	0.47	0.46	0.46	0.47	0.47	0.48	0.49	0.49	0.50	0.48	0.49		
	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7		
平成12年	0.89	0.93	0.98	1.01	1.03	1.05	1.08	1.09	1.09	1.12	1.13	1.14	1.04	1.08	第三次平成不況(H12.11)	
(2000)	0.51	0.52	0.54	0.56	0.56	0.58	0.60	0.61	0.62	0.64	0.65	0.65	0.59	0.62		
	4.7	4.9	4.9	4.8	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7		
平成13年	1.15	1.09	1.04	0.99	0.95	0.91	0.85	0.81	0.78	0.71	0.67	0.65	0.87	0.76		米国同時多発テロ事件(9月)
(2001)	0.65	0.64	0.63	0.62	0.61	0.61	0.60	0.58	0.57	0.54	0.52	0.51	0.59	0.56		
	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	5.0	5.0	5.1	5.3	5.3	5.4	5.4	5.0	5.2		
平成14年	0.62	0.62	0.63	0.64	0.65	0.66	0.66	0.69	0.68	0.69	0.70	0.71	0.66	0.69	いざなぎ景気(H14.1)	富士通大量人員整理(8月)
(2002)	0.50	0.51	0.52	0.52	0.53	0.53	0.54	0.55	0.55	0.56	0.56	0.57	0.54	0.56		
	5.2	5.3	5.3	5.3	5.4	5.5	5.4	5.5	5.4	5.4	5.2	5.4	5.4	5.4		
平成15年	0.71	0.71	0.71	0.68	0.68	0.68	0.69	0.71	0.73	0.80	0.79	0.80	0.72	0.75		イラク戦争勃発(3月) 平成の大合併(4月)
(2003)	0.58	0.59	0.60	0.61	0.61	0.62	0.63	0.65	0.67	0.70	0.72	0.75	0.64	0.69		
	5.4	5.2	5.4	5.5	5.4	5.4	5.2	5.1	5.2	5.1	5.1	4.9	5.3	5.1		
平成16年	0.80	0.84	0.87	0.90	0.97	1.01	1.03	1.03	1.04	1.03	1.04	1.02	0.96	1.01		新千円札、五千円札、一万円札発行(11月)
(2004)	0.76	0.76	0.77	0.78	0.80	0.82	0.83	0.84	0.86	0.88	0.91	0.92	0.83	0.86		
	4.9	5.0	4.8	4.8	4.7	4.7	4.9	4.8	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.6		
平成17年	1.02	1.01	1.02	1.02	1.01	0.99	0.98	0.99	1.01	1.02	1.08	1.13	1.02	1.06		
(2005)	0.91	0.91	0.93	0.94	0.94	0.95	0.96	0.96	0.96	0.98	0.99	1.01	0.95	0.98		
	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4	4.5	4.4	4.4	4.3		
平成18年	1.17	1.17	1.17	1.18	1.19	1.20	1.21	1.18	1.19	1.20	1.21	1.23	1.19	1.21		
(2006)	1.03	1.04	1.05	1.05	1.07	1.07	1.08	1.07	1.07	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06		
	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1		
平成19年	1.23	1.25	1.22	1.22	1.21	1.20	1.17	1.17	1.15	1.11	1.07	1.09	1.18	1.14		米国サブプライムローン問題表面化(8月)
(2007)	1.06	1.05	1.05	1.07	1.07	1.07	1.06	1.05	1.03	1.01	0.98	0.98	1.04	1.02		
	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.9	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8		
平成20年	1.10	1.11	1.12	1.15	1.11	1.06	1.02	0.98	0.92	0.86	0.81	0.72	0.99	0.82	リーマン不況(H20.3)	米大手証券リーマンブラザーズ破綻による金融危機(9月)
(2008)	0.97	0.96	0.96	0.96	0.95	0.92	0.89	0.86	0.83	0.79	0.75	0.71	0.88	0.77		
	3.9	4.0	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	3.8	4.0	4.4	4.0	4.1		
平成21年	0.60	0.51	0.46	0.43	0.40	0.40	0.39	0.39	0.40	0.42	0.44	0.45	0.44	0.43	景気拡張期(H21.3)	
(2009)	0.64	0.57	0.52	0.49	0.46	0.44	0.43	0.42	0.43	0.44	0.44	0.44	0.47	0.45		
	4.3	4.6	4.8	5.0	5.1	5.2	5.5	5.4	5.4	5.2	5.2	5.2	5.1	5.2		
平成22年	0.45	0.48	0.52	0.55	0.57	0.59	0.60	0.62	0.62	0.64	0.64	0.62	0.57	0.62		
(2010)	0.45	0.46	0.48	0.49	0.50	0.51	0.53	0.54	0.55	0.56	0.58	0.59	0.52	0.56		
	5.0	5.0	5.1	5.1	5.1	5.2	5.0	5.1	5.1	5.1	5.0	4.9	5.1	5.0		
平成23年	0.64	0.67	0.67	0.67	0.67	0.70	0.74	0.78	0.77	0.77	0.78	0.79	0.72	0.75		東日本大震災(3月)
(2011)	0.60	0.62	0.62	0.62	0.61	0.62	0.64	0.65	0.67	0.69	0.71	0.72	0.65	0.68		
	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.5	4.2	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5		
平成24年	0.80	0.80	0.81	0.82	0.82	0.81	0.80	0.80	0.82	0.82	0.82	0.83	0.81	0.82	景気後退期(H24.3)	
(2012)	0.74	0.75	0.77	0.78	0.79	0.80	0.81	0.82	0.81	0.82	0.82	0.83	0.80	0.82		
	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3		
平成25年	0.82	0.83	0.83	0.83	0.84	0.86	0.87	0.89	0.90	0.92	0.94	0.98	0.87	0.92	景気拡張期(H24.11)	
(2013)	0.84	0.85	0.87	0.88	0.90	0.92	0.93	0.95								

都道府県別有効求人倍率：季節調整値

令和6年8月 全国平均1.23 [原数値1.23倍]



(注) 季節調整値計算(季節調整値替え)は、毎年過去1年分のデータが揃う年初に行われ、季節調整済系列が改定される。

(資料出所) 厚生労働省「職業安定業務統計」

令和6年度 ハローワークのマッチング機能の総合評価における主要指標の進捗状況

長野労働局

1.就職件数(一般)

ハローワーク	R6/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	2月	3月	累計	目標件数	進捗率(%)
長野	367	326	315	279	242								1,529	3,839	39.8
松本	499	437	408	418	337								2,099	5,393	38.9
上田	248	232	239	218	168								1,105	2,806	39.4
飯田	217	206	206	175	148								952	2,455	38.8
伊那	208	216	191	194	153								962	2,503	38.4
篠ノ井	224	232	189	196	166								1,007	2,357	42.7
飯山	94	105	111	82	75								467	1,132	41.3
木曾福島	22	18	21	21	15								97	267	36.3
佐久	223	225	197	183	179								1,007	2,676	37.6
大町	54	62	75	52	41							0	284	756	37.6
須坂	101	86	89	92	51							0	419	1,168	35.9
諏訪	229	224	219	220	152							0	1,044	2,791	37.4
労働局全体	2,486	2,369	2,260	2,130	1,727							1	10,973	28,143	39.0

2.充足件数(一般)

ハローワーク	R6/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	2月	3月	累計	目標件数	進捗率(%)
長野	432	382	373	328	276								1,791	4,454	40.2
松本	471	408	417	405	328								2,029	5,222	38.9
上田	242	225	217	211	160								1,055	2,753	38.3
飯田	206	197	196	165	151								915	2,305	39.7
伊那	197	203	166	185	141								892	2,344	38.1
篠ノ井	220	250	184	209	143								1,006	2,471	40.7
飯山	78	87	95	72	65								397	979	40.6
木曾福島	21	24	23	18	14								100	246	40.7
佐久	220	211	192	189	183								995	2,512	39.6
大町	48	49	58	49	33							0	237	629	37.7
須坂	84	79	89	82	52							0	386	1,013	38.1
諏訪	232	231	192	203	141							0	999	2,742	36.4
労働局全体	2,451	2,346	2,202	2,116	1,687							1	10,803	27,670	39.0

3.雇用保険受給者の早期再就職割合

ハローワーク	R6/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	2月	3月	累計	目標割合	目標差(%)
長野	18.4	83	106	107									31.3%	34.2%	▲ 0.03
松本	23.4	145	147	182									32.7%	34.2%	▲ 0.02
上田	18.5	63	84	78									30.8%	34.2%	▲ 0.04
飯田	20.3	98	58	68									39.3%	34.2%	0.05
伊那	20.7	71	76	82									37.2%	34.2%	0.03
篠ノ井	16.4	61	60	58									28.7%	34.2%	▲ 0.06
飯山	26.0	25	31	35									36.8%	34.2%	0.03
木曾福島	0.0	3	12	4									22.0%	34.2%	▲ 0.12
佐久	17.9	94	66	73									32.7%	34.2%	▲ 0.02
大町	16.0	19	21	17								0	29.4%	34.2%	▲ 0.05
須坂	21.2	25	21	28								0	31.8%	34.2%	▲ 0.03
諏訪	20.0	79	47	91								0	33.5%	34.2%	▲ 0.01
労働局全体	19.8	766	729	823								1	32.9%	34.2%	▲ 0.01